

## 環境対応企業としての社内教育と広報活動の推進

社内報で環境情報を発信し最新の動向の理解を促すなど、社員の一人ひとりが環境に対する豊富な知識を持ち環境問題に対し適切に対応できるよう社内教育を行っています。広報活動としては、環境報告書の発行などの環境情報公開を行うほか、インターネット、展示会、講演を通じてコミュニケーションを図っています。

### ATC グリーンエコプラザ

「ATCグリーンエコプラザ」は大阪・南港のアジア大平洋トレードセンター内にある入場無料の環境スポットです。施設は「エコビジネス支援ゾーン」、「リサイクルテクノロジーゾーン」、「アドバンスゾーン」、「自主環境監視推進支援ゾーン」の4つのテーマゾーンに分かれています。当社のブースが設置されているのは、企業の先進的な環境製品・素材・技術を紹介する「アドバンスゾーン」です。「耐震継手S 形ダクタイル管」の可動模型のほか、「土壌・地下水浄化システム」のパネル、また、当社の環境活動への取り組みをイラスト化したパネルなどが常設展示されています。イラストパネルでは、当社の環境マスコットが地球温暖化や10年後のCO<sub>2</sub>排出量削減目標、ゴミゼロの考え方などをわかりやすく説明しています。



常設展示

### 「自ら学ぶ」人材の育成

当社では、新入社員研修、社員4・5級研修、新任管理職研修に「環境教育」を取り入れています。新入社員研修のテーマは「自ら考え、自ら行動し、自ら学ぶ、主人公意識」、そして「意識して視点を变えて観よう・聴こう」です。2週間に渡って



社内の環境教育の様子

行われる新入社員研修ですが、その際使用されるテキストに「環境問題を考える」があります。このテキストでは、地球環境をとりまく諸問題が相互に深く結びつき、全体として一つの大きな問題を形成している様子が相關図で紹介されています。また「自然環境に合っていない社会」と「自然循環に合わせた社会」のイラストを提示することにより、これからの社会像を自主的に考える人材の育成を図っています。社員4・5級研修でも「環境問題」をはじめ「同和(人権)問題」や「安全衛生の基本」などが必須項目となっています。

### スミノエコロジー2001

加賀屋工場がある大阪市住之江区、住之江公園では毎年スミノエコロジーが開催されています。環境保全・美化活動がテーマのイベントで、市民による環境ボランティアグループや住之江区の企業などが公園内にブースを設置し、日頃の活動やだれでも簡単に取り組める環境活動を紹介しています。当社は2000年から参加していますが、2001年も環境パネルやクリモト環境報告書2000などを展示し、環境に対する考え方や取り組みを地域の皆様に報告しました。今回は出展者も昨年の5倍近く集まりました。会場横の運動場では環境に優しいスポーツ「エコベース」の試合が開催され、当社からは本社、加賀屋工場、大阪臨海工場、堺工場の有志がチームをつくって参加しました。



出展者は前回の約5倍